



テレビ電話で準優勝の喜びを報告するベトナムオフィス
のメンバー。阿部英志代表取締役（左から2人目）
らがねぎらった＝盛岡市盛岡駅西通のサイバーコア

本県AI世界準V

画像認識や人工知能（AI）のシステム開発などを手掛ける盛岡市盛岡駅西通のサイバーコア（阿部英志代表取締役）は、画像認識のAI技術を競う国際コンペティションで準優勝した。米国や欧州の企業など世界各国の2261チームが参加する中で、本県ゆかりの技術が持つレベルの高さを実証した。同社は「受賞を励みに技術をさらに高めたい」と意欲を燃やす。

コンペは人工知能の国際協議会・CVPRが主催し、2月に米国で開かれた。同社からはベトナムオフィスの10人が参加した。ファッションを

米でコンペ 盛岡のサイバーコア

テーマに、データとして支給された101万枚余の写真から特定の衣服や色をAIで識別し、例えばジャケット、ブランドのシャツなど228種類に分類した。同社は人工知能や画像など

服や色、高精度識別

I認識の中でも難度が高いとされる。競技では人の判断野でも独自技術を提供してい

能力を介在させずに全てをAIで処理し、同社は認識精度7割と高い成績を上げた。コンペに出場した同社のグイン・タン・チ・ドウクさんは「多くの写真を分類するの

は大変だったが、次に向けてさらに技術力を高めたい」と研究さんを誓う。

同社は人工知能や画像など30人が従事している。自動運転やセキュリティなどの分

阿部代表取締役は「これからは組み込み技術に力を入れたい。AIをチップ化する

など、さらに最先端の技術を開発していく」と見据える。